

ついに独占日立に勝った!

破産からよみがえったカコストロボ

闘争勝利報告特集

1982年1月30日
発行：全金カコ支部
東京都品川区東五反田5-23-5
不二ビル8F 03-442-0778
宇都宮市平出工業団地4-6
☎ 0286-62-7733

解決内容要旨

1. 破産者側カコは組合に対して退職金金額8,900万円及び解決金5億円を支払う。
2. 破産者側カコは債権者日立コンデンサに担保債権3億7,100万円を支払う。(その余の9億円の一般債権は事実上放棄されたことになる)
3. 上の支払いは8,500坪等の工場敷地売却金にて当てる。
4. 土地の売却は組合の推薦する買主に優先的に売却する。
5. 残余の土地1,500坪及びそこに存在する建物(工場)は組合の設立する新会社(カコ)に譲渡する。
6. カコの商号、特許、意匠権、金型など工業所有権、有体動産などを新会社に譲渡する。
7. 従来、日立の手によって市場に流通していたカコの商品の返品、無償修理などは一切日立側の負担責任で処理を行ない、新会社の営業にも支障をきたさないようにする。日立側は今後一切カコブランド及びその商品を使用販売しないこと。
8. 過去三次にわたる全ての解雇については、これらを全て撤回し、本日(8月22日)付をもって全員依願退職する。

解雇撤回に伴ない、これまでの厚生年金等社会保険料事業主負担相当額として金600万円を別途組合に支払う。



写真協力・吉田一法(写真家)

11年にわたる御支援本当にありがとうございました

二度にわたって独占日立に倒産させられ、全金つぶし・全員解雇の悪らつな攻撃とたたかってきた全金カコ争議は、ついに11年ぶり、大きな勝利のピリオドを打ちました。

全金カコ支部 争議終結の御報告と御礼

貴労組団体におかれましては益々御健勝で活躍のこと存じます。一九七〇年日立独占のカコストロボ乗っ取り倒産に始まり七九年三月偽装破産を闘い続けられたカコ争議は八年八月解決調印をみる事が出来ました。

解決内容の要旨として

- 一 全員の解雇撤回
- 一 工場の一部建物と敷地(五〇〇坪)を確保し再開のための工業所有権(商号、特許等)や営業権の一部損害補償などを再開資金(退職金その他)を含む解決金を日立独占を相手と多くの成果をひき出して勝利のうちに終止符を打つこととなりました。

永に互って深甚なる御指導御支援をお寄せ下さいました皆様にごより御礼を申し上げます。

調印後今日まで破産終結処理が多々残されていたために全面終結が遅れておりましたが引き続き御援助を戴くため今日漸くその目途もつきましてここに勝利解決の御報告が出来ますことを一同心より感謝申し上げる次第です。

今後は新生カコとして組合員(新旧経営陣とも)に真の再建をめぐしまた働く者の生活と権利の向上を求めて倍旧の努力を続ける決意しております。

今後ともさらに私ども御指導御鞭撻下さいますようお願い申し上げます。永い間の心暖まる御支援本当にありがとうございました。

一九八二年一月

全金カコ支部支援中央共闘会議
議長 森野 徳雄
全金カコ支部支援栃木県共闘会議
議長 西村 精一
全国金属労働組合カコ支部
執行委員長 小林 雅



不屈にたたかいたカコの組合員 左側(宇都宮分会) 右側(東京分会)



不況の秋風"カゴの火"消す



1970年9月
11年前に日立に奪ったカゴ
組合生産管理下の息詰まる回文

同族会社の集

拜みます、頼
大手攻



不屈にたたかいた11年

写真下へ ▼東京争議団・文化民主運動のセンターとして、▼日本フィルの演奏も。▼地域名物となった団結ビアパーティー。



独占日立本社へ間断なく抗議行動

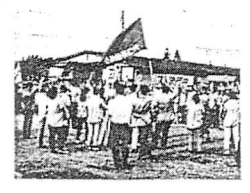
地域の運動の拠点として

カゴ宇都宮工場



闘争経過

- 一九七〇年 九月 倒産、組合生産管理体制を敷いて闘う。日立管財人に各種同意約款を協定させる。
- 一〇月 更生開始決定。
- 一九七一年 五月 春闘に日立側が一カ月のロックアウトを強行。
- カゴ労組 日立の激しい妨害をりて全金加盟。
- 二月 奥沢事業所(持機部門)閉鎖、活動家を目黒分室へ集中(第一次合理化)。
- 一九七二年 春 更生計画案をめぐり、組合と中小債権者過半数と共闘前進。
- 九月 委員長、書記長、執行委員等四人の不当配転、販売部門(子会社二社)特機部の日立コンデンサ移管などの一連の合理化(第二次合理化)。
- 十一月 会社が組合大会に介入、執行部転覆を図るが失敗する。
- 一九七三年 五月 蒲田放電管工場閉鎖を強行。パート全員解雇(第三次合理化)。
- 一九七四年 六月 蒲田工場争議勝利終結、初代管財人更迭。
- 一九七五年 八月 委員長、書記長、執行委員等四人の不当配転に部労委勝利命令。全員復帰。労使和解路線敷かれる。





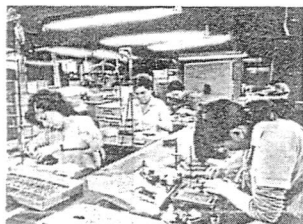
新生「カコ」に元社長・部長も復帰

11年前日立独立占に乗っ取り倒産させられた当時の経営者らも、無念の思いは同じでした。解決当日、元社長・輸出部長も記者会見に列席し、「本当によく全金の組合員の皆さんが巨大な日立を相手によくここまでカコのれんを守って下さった。私にとっては奇蹟のようです。一丸となって再びトップメーカーに再興させたい」と社長復帰のあいさつを。



応援する会は、物心両面にわたって支えてくれた
(80年12月)

職場に明るい笑いが戻った 消させなかったカストロボの灯



写真左 上から
 ▲自主生産一つの日が再開の日を求めて
 ▲闘争中にも新製品の開発に余念がない
 ▲多くのカメラファン専門家の協力が寄せられた
 ▲色んな職場・地域でカコストロボは売られた
 ▲海外にも……



気持も新たに生産に励む組合員と新しい仲間 (左) 東京五反田新事業所 (右) 宇都宮新工場



- 一九七七年
- 二月 二代目管財人突然更迭。三代目に超タカ派管財人が日立より送りこまれる。
- 一〇月 組合役員と中高年令者を中心に二七名の指名解雇を強行(第一次解雇)
- 一九七八年
- 七月 目黒分室閉鎖、配転拒否理由による解雇を強行(第二次解雇)
- 一九七九年
- 三月 更生計画を偽装的に繰り上げ終結させる(債務返済は全て日立が肩代り)
- 三月 企業全面閉鎖、全員解雇を強行(第三次解雇)
- 七月 破産宣告、栃木県政あげて破産反対の動き高まる。
- 一九八〇年
- 九月 日立側と支援共闘会議で交渉はじまる。
- 一九八一年
- 八月二二日 争議全面和解成立(於 宇都宮地裁)
- 一〇月一日 カコ再開される。(四〇人での出発、現在五五人)

